



# ヒグマの出没に注意

北海道はヒグマの生息地です。農作業や山菜採りなどの際は、ヒグマに注意しましょう。

**問い合わせ** 農村振興課（市庁舎7階、☎65・4173）

## ヒグマの情報は ここでチェック！

●北海道ホームページ  
ヒグマ注意報



●ヒグマ目撃最新情報



●市公式LINEでも  
配信しています  
友だち登録はこちら▶



市ホームページID.1003094

## ヒグマとの事故を防ぐために

北海道では、近年、市街地にまで姿を見せるヒグマが問題となっています。帯広市においても、生息域である八千代・拓成・岩内方面のほか、市街地周辺でもヒグマの目撃情報が寄せられています。

ヒグマの生態などについて知り、新聞やテレビ、ホームページなどで出没情報を確認するなど、細心の注意を払って行動しましょう。

## ヒグマとの事故が起こりやすい時期

4月から11月まではヒグマの活動時期です。特に春と秋に事故が起こりやすいので、農作業や山菜採りなどで外出する際は十分に注意しましょう。



事故多発

事故多発

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
冬眠・出産			冬眠明け		子グマの親離れ繁殖期		山の餌が少なく農作物を荒らす		冬眠準備		

### ● ヒグマを引き寄せないために

- ・収穫後の農作物や生ごみを野外に放置しない。
- ・山林などに、においの強い食べ物を持参しない。

### ● ヒグマと出合わないために

- ・日の出、日没時の薄暗い時間帯は野山に入らない。
- ・鈴やラジオなど音の出るものを携帯する。
- ・異変を感じたら直ちに引き返す。

ヒグマが歩いた跡  
前足の足跡の前に  
大きな後足の足跡  
がつきます

## ヒグマの足跡の見分け方

ヒグマなどの足跡について、市ホームページでも詳しく紹介しています。

市ホームページID.1018355



## 緊急銃猟制度の運用を開始しました

令和7年9月の改正鳥獣保護法の施行を受け、人の日常生活圏にヒグマが出没した際、安全確保などの措置を十分に講じた上で、市町村が委託したハンターなどによる銃猟を可能とする緊急銃猟制度の運用が始まりました。帯広市では、対応マニュアルを作成の上、同制度の運用を始めています。

市街地などにヒグマが出没した場合は、緊急銃猟を実施するため、交通規制や避難指示を行うことがありますので、ご協力をお願いします。また、危険ですので絶対に近寄らないでください。



緊急銃猟ガイドライン概要(令和7年7月環境省)より抜粋

## ！ ヒグマの足跡を見かけたら

ヒグマの足跡、ふんなどの足跡を見かけたら、安全のために引き返しましょう。

足跡が新しい場合や安全確認が必要な場合は、現地確認を行います。安全な場所に移動した後、農村振興課（夜間・休日などの閉庁時は市役所代表☎24・4111）か、帯広警察署（☎25・0110）へ連絡してください。

## ！ ヒグマに出合ってしまったら

走って逃げるのは絶対にやめましょう。慌てると、ヒグマを刺激することにつながります。

まずは落ち着いて、ヒグマから目を離さず、ゆっくりと後ずさりしてその場から離れましょう。慌てて行動しなければ、ほとんどのヒグマは立ち去るといわれています。

	ヒグマ 	市内で見かける野生動物の足跡（一例）		
		 エゾシカ	 アライグマ	 キツネ
ふん	 ・大きな俵型 ・大きいものでは直径7～8センチ 全体の大きさが30センチになる	 ◎道総研エネルギー・環境・地質研究所 5ミリ～1センチ程度の小さな俵型	 ・イヌのふんと似ている ・2～3センチ程度で細長いものが多い	 ・イヌのふんと似ている ・形状は細長く5～8センチ程度のものが多い
足跡	 ◎道総研エネルギー・環境・地質研究所 ・前足と後足で形が異なる ・前足の足跡、肉球部分、爪が足跡として残りやすい	 二つの大きなヒツメの跡が付くことが多い	 指の形がはっきりしていて、人の手形のような足跡が付く	 ・イヌの足跡と似ている ・横幅4～7センチ ・縦幅5～8センチ